

## SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書（2021年度）

ラボ名称	xSDG・ラボ			
ラボ代表者	氏名	蟹江 憲史	所属	政策・メディア研究科
ラボ設置期間	2017年10月1日 ~ 2023年9月30日		6	年間

<b>ラボラトリの学外研究拠点</b> ※学外の拠点で活動している場合、その詳細を記載ください。	
名称（例：東京〇〇ビル）	所在地（例：東京都〇〇区〇〇1-1-1 5F）

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割（全員分記載してください）
蟹江 憲史	政策・メディア研究科 教授	代表・統括
植原 啓介	環境情報学部 准教授	ICTとSDGs
加藤 文俊	環境情報学部 教授、政策・メディア研究科委員長	地域活性とSDGs
カトラミーズ・ターレク	政策・メディア研究科特任講師	企業とSDGs
国谷 裕子	政策・メディア研究科 特任教授	SDGsの実施、ラボの研究成果発信、情報発信
佐久間 信哉	政策・メディア研究科 特任教授	地方自治体とSDGs
高木 超	政策・メディア研究科 特任助教	地方自治体とSDGs
田中 浩也	環境情報学部 教授	デジタルファブ리케이션とSDGs
玉村 雅敏	総合政策学部 教授、SFC研究所所長	地域活性とSDGs
塚原 沙智子	環境情報学部 准教授	指標とSDGs
古谷 知之	総合政策学部 教授	統計とSDGs
村井 純	慶應義塾大学 教授	IoTとSDGs
川延 昌弘	グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン SDGタスクフォースリーダー	アドバイザー
竹本 和彦	東京大学未来ビジョン研究センター特任教授、SDSN Japan 事務局長	アドバイザー
平本 督太郎	金沢工業大学准教授・SDGs推進センター長	アドバイザー
森平 爽一郎	慶應義塾大学名誉教授	アドバイザー

## 年次活動実績報告

研究活動報告 (設置申請書, 継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。)

別添資料参照

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

別添資料参照

## SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書（2021 年度）

ラボ名称：xSDG・ラボ

ラボ代表者：

氏名；蟹江 憲史 所属・職名；政策・メディア研究科 教授

設置期間；2017 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日 6 年間

### 年次活動実績報告

研究活動報告（設置申請書、継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。）

xSDG・ラボでは、多様で複雑な社会における問題解決をSDGsという切り口で実現するためのトランスディシプリナリーな研究を実施し、出版物やウェブサイト等をつうじて、積極的な成果発信することを目的とする。本活動の推進にあたっては、学生および研究コミュニティと連携しながら、共同研究課題による外部資金獲得・導入により、産官学連携による推進体制とする。

2021年度の活動実績は次のとおりである。

#### ● 「企業×SDG」として、企業との共同研究の実施

##### 国際航業株式会社・ESRI ジャパン株式会社：

###### 日本版 SDGs の指標検討及び GIS を活用した指標の可視化

SDGs による自治体評価の新たな指標、自治体の政策進捗の見える化を目的としている。統計データ、地図データの整理検討、指標検討、表現方法の検討に取り組んだ。

##### 東京ガス株式会社：

###### SDGs 的視点からみた都市ガスインフラ（導管を中心）の役割・貢献に関わる研究

2030 年から 2050 年にむけて、中長期的に脱炭素社会と都市ガスインフラの役割を検討することを目的としている。東京ガスの商材（小売りを含む）や導管新社の取り組み内容について、SDGs の観点からの整理と考察を行なった。

##### 第一生命保険株式会社：中小企業のための SDGs ガイドラインの作成

中小企業向けの SDGs ガイドラインの作成を目的としている。中小企業の特徴を鑑みたガイドライン内容の整理と分類を行い、SDGs の観点からの整理と考察に向けて、活動実施に着手した

#### ● 「自治体×SDG」として、自治体との共同研究の実施

## **神奈川県：SDGs 達成の進捗管理に関する手法・検討調査**

SDGs の 2030 年の目標達成に向け、SDGs の神奈川県の取組みの進捗状況を測定するための指標を作成し、進捗管理の見える化を目的とする。VLR の手法として、SDGs 達成に向けた取組をフォローアップしながら推進する。神奈川県 SDGs ローカル指標に必要な事項、および神奈川県の SDGs の達成のための進捗管理に必要な事項の検討と抽出を受け、SDGs 達成に向けた観点からの整理と考察を行なった。

### ● 寄附講座の実施

#### **シティグループ証券株式会社：SDGs と金融**

2021 年春学期に、学部科目として実施した。

### ● 企業および自治体を対象とした情報発信・マッチングのプラットフォームとして、「xSDG コンソーシアム」の運営

※ 詳細は、xSDG コンソーシアム 2021 年度年次活動実績報告書を参照

### ● シンポジウム実施、ORF や外部イベントへの参加

#### **みんなの SDGs、SDGs ジャパン主催「このままでいいの？SDGs ～自発的国別レビュー (VNR) から見えること～」**

みんなの SDGs、SDGs ジャパンが主催する「このままでいいの？SDGs ～自発的国別レビュー (VNR) から見えること～」に協力(後援:慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG・ラボ、登壇協力)

日時：2021 年 10 月 27 日 (水)

URL：<http://www.our-sdgs.org/event.html>

研究成果 (学術論文、著作物、メディア露出等)
-------------------------

### ● 2021 年度

The annual report "SDSN Networks in Action 2021" by the SDSN Global, SDSN Japan, pp.62-63、2021 年 11 月

<https://resources.unsdsn.org/2021-sdsn-networks-in-action-report>

『SDGs 白書 2020-2021 コロナ禍の先の世界を拓く SX 戦略』、SDGs 白書編集委員

会、2021年5月

<https://nextpublishing.jp/book/13200.html>

第49回衆議院議員選挙とSDGsについての調査結果、2021年10月28日

[https://xsdg.jp/senkyotosdgs\\_20211028.html](https://xsdg.jp/senkyotosdgs_20211028.html)

● **2021年度年次報告書（2022年6月予定、xSDGコンソーシアムと連動）**

（目次予定）

代表総括

コンソーシアム・ミーティング開催記録（第1-3回）

2021年度年次報告会開催記録

分科会活動報告

未来財務情報 xSDG 分科会

シナジー・トレードオフ指標分科会

ニューズレター（第33-44号）

共同研究報告

国際航業株式会社・ESRI ジャパン株式会社：日本版SDGsの指標検討及びGIS  
を活用した指標の可視化

東京ガス株式会社：SDGs的視点からみた都市ガスインフラ（導管を中心）の役割・  
貢献に関わる研究

第一生命保険株式会社：中小企業のためのSDGsガイドラインの作成究

神奈川県：SDGs達成の進捗管理に関する手法・検討調査

寄附講座報告

シティグループ証券株式会社：「SDGsと金融」

会員原稿（VSP-S（S会員）およびVSP-D（D会員）、VSP-LG（自治体会員）対  
象）

以上